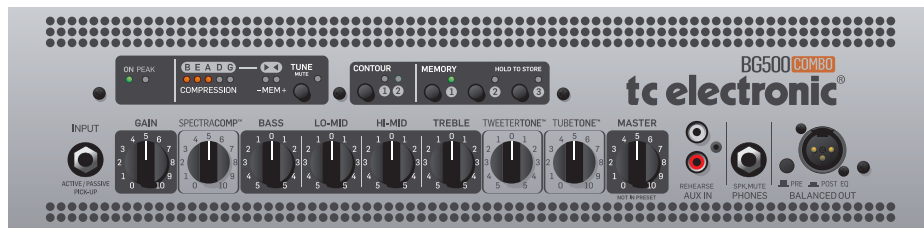



**BG500/210**  
**BG500/115**



ユーザーマニュアル



- 1 必ずお読みください。
- 2 この書類は手の届くところに保管してください。
- 3 全ての警告をお守りください。
- 4 全ての指示に従ってください。
- 5 本機を水気の近くで使用しないでください。
- 6 本体の手入れは、乾いた布で乾拭きしてください。
- 7 換気が必要となる本体の開口部は塞がないでください。本体の設置は、製造者の指示に従ってください。
- 8 ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、音響用アンプリファイア等、またそれに限定されないあらゆる熱を発生する機器の近くに設置しないでください。
- 9 極性プラグ、あるいは接地プラグの安全機構に手を加えないでください。極性プラグは、二つの金属ブレードの内、片側が大きく設計されています。接地プラグは、二つの金属ブレードに加えてアース用のピンがございます。これらは、安全のための機構です。付属のプラグがコンセントの形状に合わない場合は、旧式のコンセントの更新について最寄りの電気工事業者までご相談ください。
- 10 電源ケーブルとプラグは、踏み付けられたりはさまれたりしない様に設置してください。特に、プラグとコンセント、そして本体と電源ケーブルが接続される周りにはご注意ください。
- 11 本機に設置するアクセサリや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
- 12  カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する際には、カートと荷物の移動による転倒や荷物の落下による事故にご注意ください。
- 13 落雷を伴う天候の場合、あるいは本機を長期間使用しない場合は、本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 14 本体の点検・修理が必要となった場合は、必ず認定技術者までご連絡ください。電源ケーブルやプラグが破損した、液体を本体にこぼした、本体シャーシ内に異物が入ってしまった、雨や過度の湿度にさらした、本体の動作異常が生じた、本体を落としたなど、原因に関わらず本機に破損が生じた場合はサービスが必要です。

## 警告！

- 本体に水が垂れたり、はねる環境での保管・使用は避け、花瓶等液体の入った物を本体の上に置かないでください。電気ショック、あるいは火事等の恐れがあります。
- 必ずアースを正しく接続してください。
- 製品と同梱されているのと同様の、アース付3芯の電源ケーブルを使用してください。
- 適切な電源ケーブルとプラグ形状・動作電圧は地域によって異なります。
- 以下の表に従い、各地域の規格に準拠した電源ケーブルを使用してください。

電圧	プラグ規格
110-125V	UL817 and CSA C22.2 no 42.
220-230V	CEE 7 page VII, SR section 107-2-D1/IEC 83 page C4.
240V	BS 1363 of 1984. Specification for 13A fused plugs and switched and unswitched socket outlets.

- 本機は、電源ケーブルの抜き差しが容易に行える、コンセントの近くに設置してください。
- コンセントから完全に絶縁するには、パワーサプライのケーブルをコンセントから外してください。
- パワーサプライのプラグは容易に抜き差しができる様にしてください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。
- 本体を開けないでください。人体に対して有害な高電圧の電気ショックの恐れがあります。

## 注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する権利を失うことがあります。

## サービスについて

- 本体内にユーザ保守可能なパーツはございません。
- サービスが必要となった場合は、必ず認定の技術者までご連絡ください。

# EMC

---

## EMC/EMI

本機器はFCC 基準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を落としてから再投入してください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で障害の解消を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの方向、設置場所を変更する
- 本機器と受信機の距離を遠ざける
- 本機器を受信機とは別の系統の電源回路に接続する
- 必要に応じて、販売代理店、または経験のある無線 / TV の専門技術者に問い合わせてください。

### For the customers in Canada:

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

---

## イントロダクション

目次 .....	3
イントロダクション .....	4
クイック・セットアップ・ガイド .....	5

## 操作

フロントパネル .....	6
リアパネル .....	12
その他 .....	13

## 付録

シグナルフロー .....	14
技術仕様 .....	15

## イントロダクション

---

この度は、BG500 COMBO アンプリファイアーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

TC エレクトロニクスのベース・ポケットへ、ようこそ。BG500 COMBO は TC エレクトロニクスの充実したベース製品ラインアップの新顔で、他の製品同様シンプルながらにして優れたサウンドと充実した機能のパワフルな組み合わせでベースアンプの進化を体現します。

クラシックな外見の中には、比類のない高度な技術がつまっています。アクティブ・パワー・マネージメント (Active Power Management™) 技術により、チューブアンプの特性を持った 500 ワットの圧倒的なパワーで躊躇なく大音量を鳴らしきります。

BG500 COMBO は、一般的なトーン・コントロール・セクションを搭載しながらも、このアンプならではのキャラクターとサウンドを実現する画期的な機能を搭載しています。TubeTone™ はチューブ回路のあらゆる特性をエミュレートしてリッチな演奏感を実現し、SpectraComp™ はライブ環境でもスタジオ・クオリティのコンプレッションを可能とします。ヴァーチャルな「弦独立」ともいえるコンプレッションを行ない、弦ごとのコンプレッションの効きのばらつきを抑えながら、既存のどのベースアンプ・システムよりも充実した高品位でパンチのあるサウンドを実現します。TweeterTone™ は、ツイーターのレベル・コントロールを新しい次元へと導きます。フロントパネル操作とプリセット操作性を確保しながら、ほとんどのアンプよりもスムーズで音楽的な高域のコントロールを行なえます。

BG500 COMBO は、ライブ/スタジオ/リハーサルと、環境を問わない理想的なアンプといえます。バランス・アウト、ヘッドフォン、リハーサル・インプットも用意しあらゆる用途に対応します。3つのオンボードのユーザーメモリーで、ライブの途中でもサウンドを切り替えることができます。サウンドの幅を広げたり、こだわり抜いたセッティングを再現する、またはベースを持ち替えた際に重宝することでしょう。

一つのアンプであらゆる状況にシなやかに対応するアンプ・システムの誕生です。

---

製品の仕様ならびに本マニュアルの内容は、予告なく変更となる場合があります。最新版のマニュアルは [www.tcelectronic.co.jp](http://www.tcelectronic.co.jp) からダウンロード可能です。より詳細の情報やサポートをお求めの場合は、ウェブサイトか、TC のオンライン・サポート・サイト TC Support Interactive をご参照ください (<http://tcjsupport.custhelp.com>)。



## 一分でも早く音を出したい場合

次の手順でセットアップを行なってください。所要時間は、ほんの数分です。

### 開梱

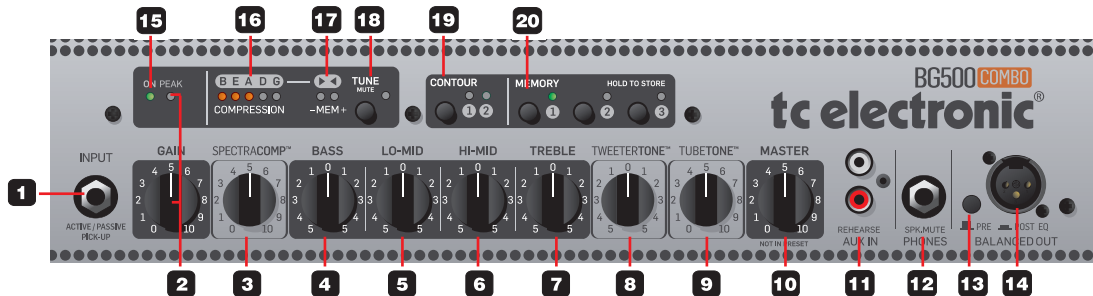
- BG500 COMBO アンプを外箱から取り出します。
- 次のアイテムが含まれていることをご確認ください。
  - BG500 COMBO アンプ本体
  - 電源ケーブル
  - RCA ピンジャック - ミニジャック変換ケーブル
  - マニュアル
- 搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。
- 製品の梱包材は保存しておいてください。これは、将来的な搬送時の備えとして使用できるのはもちろん、万一搬送時に破損が生じた場合にその証明として必要となります。

### セットアップ

- 電源ケーブルを、アンプ本体のリアパネルに記された電圧と周波数に一致したコンセントに接続します。
- ベースをフロントパネルのインプット・ジャックに接続します。
- GAIN（ゲイン）ノブでインプット・ゲインを調節します。
- MASTER（マスター）ノブでアウトプット・ボリュームを調節します。
- これで準備が整いました。

BG500 COMBO、ならびに TC の他製品の最新情報は、[www.tcelectronic.co.jp](http://www.tcelectronic.co.jp) でご覧いただけます。

## 操作 - フロントパネル



### 1 INPUT - インプット・ジャック

入力端子です。アクティブとパッシブ両方のベースに対応しています。BG500 COMBOの入力段は、あらゆる種類のピックアップに対応する様に設計されています。

### 2 GAIN / PEAK - ゲイン・ノブ & ピーク LED

インプット・ゲインは、入力段をオーバーロードしない範囲でできるだけ大きく設定します。ベースを接続し、演奏しながら PEAK LED が稀に点灯するまで GAIN ノブを上げます。ここから、LED が点灯しなくなるまで若干ゲインを下げます。ゲインを設定したら、MASTER ボリューム・ノブで音量を調節します。

### 3 SPECTRACOMP™ - スペクトラコンプ

SpectraComp™ コンプレッションの適用量を調節します。

SpectraComp™ はスペクトラル（マルチバンド）型のコンプレッションで、ロー/ミッド/ハイの周波数帯域それぞれに独立したコンプレッションを行いません。マルチバンド・コンプレッションは、ダイナミクスやトーンを損なうことなくよりエフェクト感の少ない、スムーズなコンプレッションを行いません。

SpectraComp™ は、ベース用にチューニングされた高度なコンプレッサーです。背景でどんな処理が行なわれているかを知りたい場合には、次の「SpectraComp - 詳細」セクションをご参照ください。

### SpectraComp - 詳細

#### コンプレッション・メーター

SpectraComp™ の設定時には、コンプレッション・メーターがコンプレッションの適用量を表示します（「16 COMPRESSION - コンプレッション・メーター」参照）。

#### 自動メイクアップ・ゲイン

原理上、コンプレッションは信号の一番大音量の成分やピークを抑えます。そのため、多くの一般的なコンプレッションではレベルに食い込んでいる感覚、すなわちレベルの減少が感じられます。SpectraComp™ はコンプレッションによるゲインの減少を自動的に補正し、出力の音量を均一に保ちます。

#### スペクトラル・コンプレッションとフルバンド・コンプレッションの違い

現在市場に出回っているベース用コンプレッサーはほぼ例外なく「フルバンド」型で、周波数レンジ全体（20 Hz ~ 20 kHz）に対して同じ反応を示します。

ベースという楽器は、E（またはB）弦からG弦まで、極めて広いダイナミックレンジを持っています。通常のコンプレッサーでは、音のエネルギーが大きいE（またはB）弦がコンプレッションの引っかかりとコンプレッション特性を決めてしまいます。多くの場合、G弦にはコンプレッションがまったくかからなかったり、逆にG弦で良好なコンプレッションが得られる設定にするとE弦がつぶれすぎてしまいます。「コンプレッサーの設定は難しい」という一般的な認識はここに原因があり、事実、ベース用のコンプレッション設定は、厳しい条件の中でバランスを取る作業に他なりません。

BG500 COMBO アンプリファイアーはスペクトラル・コンプレッションという異なるアプローチでコンプレッションを行ないます。ロー/ミッド/ハイそれぞれの周波数帯域に独立したコンプレッションを行なうため、弦や音程によるばらつきが少なく、スムーズでエフェクト感の少ないコンプレッションが得られます。

#### 4/5/6/7 TONE - トーン・コントロール

BG500 COMBO は BASS（ベース） / LO-MID（ロー・ミッド） / HI-MID（ハイ・ミッド） / TREBLE（トレブル）の4つのトーン・コントロールを装備しています。これらのチューニングとキャリブレーションはベース用に緻密なチューニングがなされており、とまどうことなく自分ならではのサウンドを設定できるはずです。

#### 周波数とゲイン・レンジ

<u>BASS 周波数</u>	160 Hz (ゲイン・レンジ: -24 dB ~ +15 dB)
<u>LO-MID 周波数</u>	400 Hz (ゲイン・レンジ: -24 dB ~ +15 dB)
<u>HI-MID 周波数</u>	800 Hz (ゲイン・レンジ: -24 dB ~ +15 dB)
<u>TREBLE 周波数</u>	1600 Hz (ゲイン・レンジ: -24 dB ~ 0 dB)、 4000 Hz (ゲイン・レンジ: 0 dB ~ +15 dB)

## 操作 - フロントパネル

### 8 TWEETER TONE™ - ツイータートーン

多くのコンポアンプとキャビネットは、キャビネット背面にいわゆる「Lパッド」HF（高周波数）コントロールを装備しています。このコントロールは通常キャビネットのツイーターのレベルを調節することで高域のレベルをコントロールします。

TweeterTone™ は、より直感的で優れた方式で高域をコントロールします。単純にツイーターのレベルを変えるだけではなく、サウンド的により耳に馴染みの良く、音楽的な高域のコントロールを行ないます。また、調節の度にキャビネットの背面に手を回す必要もなく、フロントパネルから直接操作できるメリットも見逃せません。

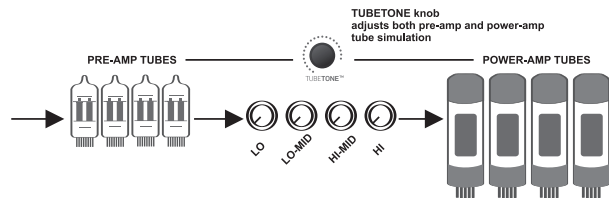
TweeterTone™ の設定は、プリセットに保存されます。サウンド全体の中の高域を調節することで、やわらかくウォームなヴィンテージ・サウンドからスラップ用のセッティングにプリセット・スイッチ一つで瞬時に移ることができます。

### 9 TUBETONE™ - チューブトーン

トランジスタ型でチューブ・サウンドの再現を試みているほとんどのデザインは、小型のプリアンプ・チューブのみを使用しています。多くの場合、これらはサウンドに極めて大きい影響を与えるプリアンプ全体とパワーアンプ・セクションの特性の変化を考慮していないため、サウンド的に納得の行くものは極めて稀です。

TubeTone™ は、BG500 COMBO のサウンドとキャラクターを調節することを可能とします。微量ではクラシックなチューブアンプの様なレスポンスを若干与え、設定を上げていくとより主張の強い特徴的なサウンドになり、さらに設定を上げると強いオーバードライブのかかったサウンドとなります。

多くのチューブ・シミュレーションとは異なり、TubeTone™ はプリアンプ・セクション全体（トーン・コントロール前）とパワーアンプ・セクション（トーン・コントロール後）の両方を再現します。この構成は、演奏のニュアンスに対するレスポンスまでをも含めて柔軟に本物のチューブ・サウンドを再現するだけでなく、トーン・コントロールの設定で TubeTone™ の反応を変えるといった本物のチューブアンプ特有の使い回しを可能とします。



TUBETONE は、プリアンプとパワーアンプ両方のチューブ・シミュレーションを行ないます。

### 10 MASTER - マスター・ボリューム

アンプ全体の出力レベルを調節します。ヘッドホン・アウトのレベルも同時に調節されます。この設定は、プリセットに保存されません。

### 11 AUX IN - リハーサル用 AUX インプット

ステレオの AUX 入力です。ここに入力した信号は、PHONES 端子からベースの信号とミックスして出力されます。個人練習時の楽曲確認やメトロノーム/リズムマシンの接続に使用できます。付属のミニジャック - RCA ピンジャック変換ケーブルを使えば、リハーサル用に iPod® や iPhone® 等の民生再生機を接続できます。

### 12 PHONES - ヘッドホン

ヘッドホン用の標準 1/4" 端子です。このスタジオ・クオリティのヘッドホン・アンプは、出力に微量のスピーカー・フィルターが加えられており、ヘッドホンを装着しながらの演奏時にも違和感のないサウンドを実現します。

ヘッドホン・アウトからはリアパネルの AUX IN (「リハーサル」) インプット・ジャックの信号も出力され、iPod® などの MP3 プレイヤーやコンピュータのサウンドカード等でバックিং・トラックを再生させながら演奏できます。自宅での個人練習や本番前のパートの最終チェックなどに便利です。

ヘッドホン・アウトのボリュームは MASTER ノブで調節します。PHONES ジャックにヘッドホンを接続すると、スピーカーからの出力はオフとなります。この機能は、夜間などに重宝するでしょう。

### 13 PRE / POST - プリ/ポスト・スイッチ

LINE DRIVER OUT のタップ・ポイントを指定します。詳細は、後述シグナルフロー図をご参照ください。

### 14 BALANCED OUT - バランス・ライン・アウト

ライブ時に BG500 COMBO の出力を PA に送る、またはスタジオでレコーディング機器に接続する時に使用します。

BALANCED OUT 端子の隣にある PRE/POST スイッチで、アンプのどの段階を出力するかを設定できます。



MUTE ボタンは、BG500 COMBO のスピーカーとバランス・アウトからの出力をミュートしますので、ライブ時でベースが PA に接続されている際にチューニング時のサウンドが PA に送られてしまうのを防げます (通常の外部 DI ではなく BG500 COMBO のバランス・アウトを使用した場合)。

### 15 ON - オン LED

電源がオンの時に、点灯します。

## 操作 - フロントパネル

### 16 COMPRESSION / BEADG -

#### コンプレッション・メーター／チューナー弦表示

通常は、コンプレッションの適用量を表示します。TUNE MUTE (18) がオンの間は、5つのLEDがチューニング中の弦を表示します。

### 17 チューナー表示

BG500 COMBOのチューナーは、4と5弦ベース用の表示を持ちます。チューナーをオンにするには、TUNER ボタンを押します。

5つのLEDは、チューニング中の弦を表示します。チューニングが正確だと、左右矢印のLEDが両方点灯します。

例：



A弦の音程が低い場合 - チューニングを上げる様に促されます



A弦の音程が高い場合 - チューニングを下げる様に促されます



A弦の音程が正確な場合 - ベグに触れる必要はありません

### 18 TUNE MUTE - チューニング・ミュート・ボタン & LED

TUNE MUTE ボタンを押すと、ミュート機能が作動ことを示す赤いLEDが点灯します。スピーカーとヘッドホン・アウトに加え、バランス・アウトもミュートされます。そのため、チューニング時には、自分の機材のみならず、PAへの出力もミュートすることが可能となります。

### 19 CONTOUR - コントゥア

COUNTOUR ボタンは、瞬時にミッドレンジをスクープした既定のEQカーブを与えます。2種類の特性が用意されています。

### 20 MEM - メモリー 1 / 2 / 3

BG500 COMBOでは、3つのユーザー・メモリー領域に任意のセッティングを記憶させることができます。

#### セッティングの保存方法

- お好みのサウンドに各ノブを設定します。
- いずれかのMEM ボタンを約2秒間長押しします。
- MEM ボタンが点滅し、設定が保存されたことを示します。
- 保存されている他のMEM セッティングを呼び出すには、呼び出したいMEM ボタンを普通に一度押します。

#### MEM に保存される内容

マスター・ボリュームと MUTE ボタンの状態を除く全てのノブと CONTOUR ボタンの状態が保存されます。

### メモリー機能の必要性

多くのベーシストは一つのサウンドを固定で使い続けます。様々な設定を使い分けるのは少数派かもしれません。

特別プリセットの必要性を感じないベーシストにとっても、ベースを持ち替えたりピックアップ設定を変える、または別の会場で演奏したり演奏スタイルを変えるとといった要因によって、アンプのセッティングを度々調節することはあるはずですが、BG500 COMBOのメモリー機能は、こういった場面にも極めて実用性の高い機能です。

### メモリー・モード / WYSIWYG モード

メモリー機能はほとんどのベーシストにとって極めて実用性の高い機能ですが、フロントパネルのノブ / ボタンの状態を常に 100% 反映する「WYSIWYG」モードも用意されています。

現在呼び出されているプリセットのボタンを押すと、メモリー番号の LED が消え、全ての設定がプリセットに保存されていた内容からフロントパネルのノブ / ボタンの状態に変わります。

### ノブの設定と内部設定の整合

メモリー設定を切り替える、または WYSIWYG モードからいずれかのメモリーを呼び出すと、実際のサウンドの元となる設定はノブの物理的な位置と一致しくなります。

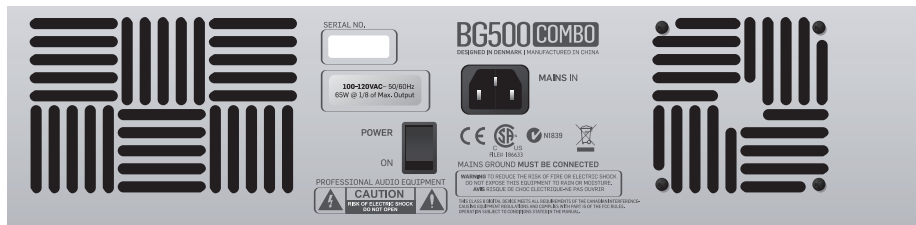
1. いずれかのノブを動かすと、そのノブの位置に応じた設定に瞬時に切り替わります。
2. その状態では、サウンドはノブの位置と一致するものの、メモリーに元々保存されていた設定と一致しくなくなります。現在のサウンドがメモリーに保存されている内容と異なる場合には、コンプレッサー / チューナー / セクションの矢印 LED が点灯または点滅します。



- LED がゆっくりと点滅する状態は、ノブの設定がメモリーに保存されている内容と大幅に異なることを示します。
- LED が高速に点滅する状態は、ノブの設定がメモリーに保存されている内容と近いことを示します。
- LED が点灯する状態は、ノブの設定がメモリーに保存されている内容と一致していることを示します。

左 LED が点滅する状態は、ノブの設定がメモリーに保存されている内容よりも低いことを示します。右 LED が点滅する状態は、ノブの設定がメモリーに保存されている内容よりも高いことを示します。

## 操作 - リアパネル



### MAINS IN - 主電源入力／電源スイッチ

接続するコンセントが、アンプ本体に記されている電圧と周波数の規定と一致していることをご確認ください。115V モデルは 100V ~ 120V に対応しています。230V モデルは、220 ~ 240V に対応しています。



他の機材（PA 等）と BG500 COMBO の電圧差が生じるのを避けるためには、電源のグラウンド・ピンが正しく結線されている必要があります。

## 換気について

BG500 COMBO の冷却グリッドは、絶対に塞がないでください。

換気が不足すると、アンプの温度が過度に高まる可能性があります。

## 保護モード

BG500 COMBO はインテリジェントな保護システムを内蔵しており、本体の扱いを誤った場合や過酷な環境で生じうる誤動作や故障を可能な限り防ぎます。

### General Protection Mode - 一般プロテクション（保護）モード

BG500 COMBO がプロテクション（保護）モードに入ると、TUNE MUTE LED が点灯し、COMPRESSION メーターの左右 2 つの LED が交互に点滅します。



何らかの理由で回路ショートが生じると、本体はプロテクション・モードに切り替わります。プロテクション・モードに入るとスピーカー出力はミュートされ、ショートによるスピーカーの破損を防ごうとします。バランス・アウトは音を通し続けます。

問題を解決するには、まずは BG500 COMBO の電源を落とし、1 分間待ちます。再度電源を投入しても LED が同じパターンの点灯・点滅を続ける場合は、認定サービスセンターに連絡して、本体の点検を依頼してください。

### Heat Protection Mode - ヒート・プロテクション（熱保護）モード

BG500 COMBO がヒート・プロテクション（熱保護）モードに入ると、PEAK と TUNE MUTE LED が点灯し、COMPRESSION メーターの左右 2 つの LED が交互に点滅します。

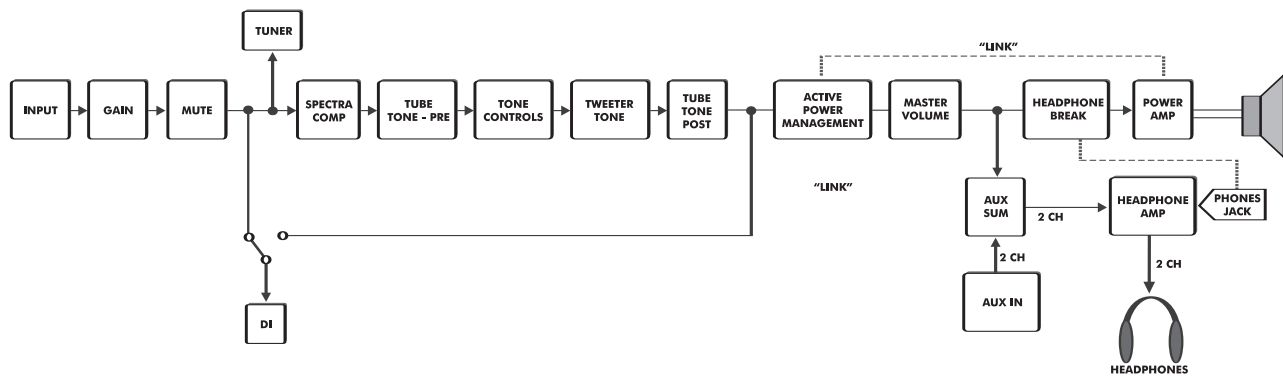


ヒート・プロテクション・モードに切り替わる原因としては、使用環境の気温が高すぎる、または十分な換気が得られていない状態が考えられます。

### 次の処置を講じてください。

- アンプの電源を落とします。
- 問題の原因を解決します。
- アンプが冷却するまで数分の時間を与えます。
- 再度アンプの電源を投入します。

## 付録 - シグナルフロー



<b>インプット・セクション</b>		HP 出力インピーダンス	40 ~ 600 Ω
入力コネクタ	1/4"ジャック	主電源	100 ~ 120V または 220 ~ 240V、50 / 60Hz (65w @ 最大出力の 1/8)
入力インピーダンス	1M Ω / 100 pF	定格パワー	500W (1000W ピーク)
ゲイン・レンジ	-96 ~ 32dB	バランス・アウト	バランス XLR、プリ/ポスト・プリアンプ切り替え
<b>トーン・コントロール</b>		バランス・アウト最大出力	+2 dBu
ベース	中心周波数: 160Hz (ゲイン: +15 / -24dB)	バランス・アウト最適負荷 インピーダンス	600 Ω
ロー・ミッド	中心周波数: 400Hz (ゲイン: +15 / -24dB)	リハーサル・インプット	RCA ピン、左右入力、iPod® 接続対応
ハイ・ミッド	中心周波数: 800Hz (ゲイン: +15 / -24dB)	寸法	475 × 735 × 410 mm / 18.7" × 28.9" × 16.1"
トレブル	中心周波数: 1600Hz (ゲイン: -24 ~ 0dB)、 4000Hz (ゲイン: 0 ~ +15dB)	重量	32 kg / 70.5 lbs
TweeterTone	0 ~ 10、L-PAD キャビネット再現	仕上げ	カーペット・カバリング、 ハンドクラフト・ウッド・ボックス
TubeTone	0 ~ 10、チューブアンプ再現	ポート	フロントポート
SpectraComp	3 バンド・スペクトラル・コンプレッション	ウーファー	Eminence カスタム 10" / 15"
ユーザー・メモリー	3 メモリー領域、ミュート & マスター・レベルを 除く全フロントパネル・コントロールを保存	ツイーター	Eminence Neo 33mm ヴォイスコイル
<b>チューナー</b>			
チューナー・レンジ	ベース・チューナー、ミュート時に作動 クロマチック、B0 (30.87Hz) ~ G4 (392.00Hz)		
ミュート	スピーカー、ヘッドホン、バランス・アウト		
マスター・レベル/ ヘッドホン・アウト	スタジオ・クオリティ・ヘッドホン・アンプ		

仕様は予告なしに変更となることがあります。

Prod No: E60522011

**tc electronic®**